「遅れ」とした７５事業

| | コード | 事業名 | 計画目標 | | | 平成23年度実績 | | | 「遅れ」の理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目標指標 | 平成20年度末 | 平成25年度末 | 事業量（単年） | 事業量（累計） | 計画目標進捗率 | |
| 1 | 1105 | ごみ減量・リサイクル推進事業 | ①市民1人1日当たりのごみ排出量（資源物除く） | ①847.4ｇ | ①814.2ｇ | ①784.1g | ①- | ①100%<br>(100%) | 計画目標①③は計画目標を達成できたが、②が平成23年度までの目標（4.4%増）に対し、実績が0.2%減と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、②の遅れは、市民・事業者の発生抑制に対する意識・行動が浸透してきており、新聞購読者数の減少などのライフスタイルの変化、民間の資源化ルートの利用拡大などによって、市が収集する資源物量が減少していることが要因として考えられる。 |
| | | | ②再生利用率 | ②22% | ②27.3% | ②21.8% | ②- | ②0%<br>(0%) | |
| | | | ③最終処分比率 | ③8.4% | ③7.1% | ③7.0% | ③- | ③100%<br>(100%) | |
| 2 | 1201 | 自然環境・水環境保全事業 | ①外来生物（アライグマ等）捕獲殺処分により生態系の保全に取組む | ①204頭 | ①100頭（捕獲による生息数の減少による） | ①389頭 | ①- | ①100%<br>(-) | 計画目標①は平成23年度までの計画（200頭）に対して、100%の達成率であったが、②③④は、平成23年度までの計画（②15件/年、③96.0%、④累計9件）に対して、実績が②3件、③93.4%、③5件といずれも7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け、「遅れ」とした。<br>なお、②の遅れは、市民からの相談へ適切に対応する中で、市による撤去を必要とする巣が想定よりも少なかったことによるもの、③の遅れは、一部河川の水質改善の遅れによるもの、④の遅れは、学校との設置調整がつかなったことによるものである。 |
| | | | ②繁殖期のカラスの巣の撤去により市民への被害を防止する | ②7 件/年 | ②20件/年 | ②3件 | ②- | ②20%<br>(-) | |
| | | | ③環境基準適合率 | ③90.2% | ③100% | ③93.4% | ③- | ③55.2%<br>(32.7%) | |
| | | | ④公共施設への雨水貯留タンクの設置 | ④0件 | ④15件（平成21～25年度累計） | ④1件増 | ④5件 | ④55.6%<br>(33.3%) | |
| 3 | 1203 | 高沼用水路整備事業 | ①整備総延長 | ①0m | ①800m | ①0m | ①0m | ①0%<br>(0%) | 計画目標①は平成23年度までの計画(300m)に対し0mの実績、②は平成23年度までの計画(1か所）に対し0か所の実施と、7割未満の達成率であったため、計画目標の達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、①②の遅れは、平成23年度中にバイパス放流管の整備が完了する予定であったが、放流河川管理者（県）との調整に時間を要したため、工事着手に遅れが生じたことよるものである。 |
| | | | ②憩える場所の整備数 | ②0か所 | ②2か所（平成24年度末） | ①0か所 | ①0か所 | ①0%<br>(0%) | |
| 4 | 1213 | 民有地・民間建築物緑化事業 | ①生け垣設置助成数累計 | ①140件 | ①340件 | ①30件増 | ①221件 | ①67.5%<br>(40.5%) | 計画目標②は平成23年度までの計画どおり実施することができたが、①は平成23年度までの計画（累計120件増）に対し、実績が81件増と7割未満の達成率であったため、目標計画達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、生け垣設置の取組には、市民の緑化意識の向上が欠かせないため、市報・市ホームページのほか、多様な広報手段を用いてさらなる制度の周知を図っていく。 |
| | | | ②建築物緑化助成事業により創出された緑化面積 | ②138㎡ | ②1,538㎡（平成24年度末） | ②336㎡増 | ②1,766㎡ | ③100%<br>(100%) | |

| | コード | 事業名 | 計画目標 | | | 平成23年度実績 | | | 「遅れ」の理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目標指標 | 平成20年度末 | 平成25年度末 | 事業量（単年） | 事業量（累計） | 計画目標進捗率 | |
| 5 | 1301 | 都市景観形成推進事業 | ①届出対象行為に係る景観誘導適合率 | ①８０％（現行の大規模建築物等誘導） | ①１００％（景観計画に基づく景観形成基準適合率） | ①100% | ①100%（平成21年度末） | ①100% | 計画目標①は平成23年度までの計画どおり実施できたが、②③は平成22年度末をもって事業を休止しているため、当初の目的を達成できないことから「遅れ」とした。<br>なお、景観表彰等の事業休止の理由は、これまでの取組みにより一定の効果が見られたことによるものである。 |
| | | | ②景観表彰応募数 | ②１７１件/年 | ②２００件/年 | ②- | ②202件（平成22年度末までの累計） | ②-（-） | |
| | | | ③景観絵画コンクール応募数 | ③１４１件/年 | ③１５０件/年 | ③- | ③582件（平成22年度末までの累計） | ③-（-） | |
| 6 | 2101 | 地域健康福祉連絡会の設置･運営 | 健康福祉地区で地域福祉行動計画を策定した地区 | ２５地区／４７地区 | 全４７地区 | 2地区増 | 31地区 | 35.3%（27.3%） | 平成23年度までの計画（累計17地区増）に対し、実績が6地区増と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは設置にするにあたり、地域福祉行動計画を立て、地域のコーディネータの役割を担う人や活動拠点を確保しなければならないため、地域によって事業展開に差が生じていることによる。 |
| 7 | 2201 | 妊婦･乳幼児健康診査 | ①妊婦健診1回受診率 | ①９５.７% | ①９８% | ①95.3% | ①- | ①0%（0%） | 計画目標②③⑤⑥について、実績は増加しているものの、計画目標の各項目が平成23年度までの計画（計画目標と同数）に対して7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、①の遅れは、妊娠の届出が遅く、1回目の妊婦健康診査未実施の妊婦がいることや、償還払い制度未申請の妊婦がいる可能性があること、また、②～⑦の遅れは、受診期間内に受診することを失念したり、体調等によりやむを得ず受診できない乳幼児がいる可能性があることによるものと考えられる。 |
| | | | ②4か月児 | ②９２.７% | ②９５%以上 | ②93.5% | ②- | ②34.8%（34.8%） | |
| | | | ③１０か月児 | ③９２.４% | ③９５%以上 | ③93.7% | ③- | ③50.0%（50.0%） | |
| | | | ④1歳6か月児 | ④９０% | ④９５%以上 | ④92.8% | ④- | ④56.0%（56.0%） | |
| | | | ⑤3歳児 | ⑤８６.６% | ⑤９０%以上 | ⑤88.3% | ⑤- | ⑤50.0%（50.0%） | |
| | | | ⑥1歳6か月児(歯科) | ⑥７４.６% | ⑥８０%以上 | ⑥75.9% | ⑥- | ⑥24.1%（24.1%） | |
| | | | ⑦3歳児（歯科） | ⑦６８.８% | ⑦８０%以上 | ⑦71.2% | ⑦- | ⑦21.4%（21.4%） | |
| 8 | 2204 | 子育て支援総合事業 | ①子育て応援ブック発行数 | ①４４,０００冊 | ①５０,０００冊 | ①47,000冊 | ①- | ①100%（50.0%） | 計画目標①は平成23年度までの計画どおり実施できたが、②③④は平成23年度までの計画（②39万件/年まで増、③141件増、④3回/年まで増）に対し、7割未満の達成率のため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、②の遅れは民間のサービスが発達し、公的なサービス以外のものでも、市民が情報を入手できる状況になったためと考えられる。また、③の子育てＷＥＢの会員数の減少については、リニューアルに伴う一時的なものと言える。④については、区レベルの会議を開催する区が増加してきているため、市レベルの会議は今後も年1回の開催とする予定である。 |
| | | | ②子育てＷＥＢアクセス数 | ②３４万件/年 | ②４０万件/年 | ②34万9千件 | ②- | ②18.0%（15.0%） | |
| | | | ③子育てＷＥＢ会員登録件数 | ③７５９件 | ③1,０００件 | ③553件 | ③- | ③0%（0%） | |
| | | | ④子育て支援ネットワーク | ④会議開催1回 | ④会議開催5回 | ④会議開催1回 | ④- | ④0%（0%） | |

| | コード | 事業名 | 計画目標 | | | 平成23年度実績 | | | 「遅れ」の理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目標指標 | 平成20年度末 | 平成25年度末 | 事業量（単年） | 事業量（累計） | 計画目標進捗率 | |
| 9 | 2205 | 子育て家庭生活支援事業 | ①ファミリー・サポート・センター会員数 | ①3,638人 | ①3,800人 | ①72人増 | ①4,179人 | ①100%<br>(100%) | 計画目標①③は計画目標を達成したが、②は平成23年度までの計画（590件/年まで増）に対し、7割未満の達成率のため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは派遣回数の制限等に原因があると考えられる。 |
| | | | ②子育てヘルパー派遣事業延訪問件数 | ②472件/年 | ②600件/年 | ②363件 | ②- | ②0%<br>(0%) | |
| | | | ③子どもショートステイ事業利用件数 | ③3件/年 | ③10件/年 | ③19件/年 | ③- | ③100%<br>(100%) | |
| 10 | 2206 | (仮称)さいたま市子ども総合センター整備事業 | 子ども総合センター | 構想 | 完成 | 基本計画策定開始 | 基本計画策定開始 | -<br>(-) | 平成23年度中に基本計画策定としていたが、年度内の策定ができなかったため、計画目標の達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れについては庁内調整等に想定以上の時間がかかったためである。 |
| 11 | 2209 | 子育て支援拠点施設整備･運営事業 | ①単独型施設数 | ①7か所 | ①10か所 | ①増減なし | ①9か所 | ①100%<br>(66.7%) | 計画目標①②は平成23年度までの計画どおり実施することができたものの、③は平成23年度までの計画（累計8.4%増）に対し7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。 |
| | | | ②保育所併設型施設数 | ②38か所 | ②49か所 | ②2か所増 | ②45か所 | ②100%<br>(63.6%) | |
| | | | ③子育て拠点施設が設置されている小学校区割合（児童センター含む） | ③69.3% | ③83.3% | ③1.9%増 | ③72.5% | ③38.1%<br>(22.9%) | |
| 12 | 2211 | 認可外保育施設等整備･運営事業 | ①ナーサリールーム・家庭保育室定員 | ①2,108人 | ①3,688人 | ①316人増 | ①3,929人 | ①100%<br>(100%) | 計画目標①②③④は、平成23年度までの計画どおり実施することができたが、⑤は平成23年度までに新たな支援制度を創設することについて、計画目標が達成できなかったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、⑤の「遅れ」について、平成22年度に国の補助制度が改正されたことにより、補助の対象が拡大されたことから、「新たな補助制度」を構築する計画から、市、県、国のいずれかの補助制度を活用することにより、新規施設の拡大を図っていく方針に変更した。 |
| | | | ②認定こども園施設数（幼稚園・保育所一体施設含む） | ②3施設 | ②4施設 | ②0施設増 | ②3施設 | ②-<br>(-) | |
| | | | ③預かり保育実施園数 | ③69園 | ③拡充 | ③5園増 | ③79園 | ③-<br>(-) | |
| | | | ④設置した事業所内保育施設数 | ④1施設 | ④7施設 | ④1施設増 | ④5施設 | ④100%<br>(71.4%) | |
| | | | ⑤複数の企業等による事業所内保育施設への新たな支援制度 | ⑤ー | ⑤創設（平成23年度末） | ⑤検討 | ⑤検討 | ⑤0%<br>(0%) | |
| 13 | 2213 | 公立保育所完全給食実施事業 | 完全給食実施公立保育所 | 0か所 | 61か所 | 0か所増 | 0か所 | 0%<br>(0%) | 完全給食を実施した園がなかったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、「遅れ」については、完全給食実施に向けた必要備品の購入、給食室の修繕、消耗品の購入を行うことができなかったためである。 |

| | コード | 事業名 | 計画目標 | | | 平成23年度実績 | | | 「遅れ」の理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目標指標 | 平成20年度末 | 平成25年度末 | 事業量（単年） | 事業量（累計） | 計画目標進捗率 | |
| 14 | 2214 | 放課後子どもプラン等推進事業 | ①放課後児童クラブ受入児童数（小学1～3年生） | ①5,500人 | ①7,500人 | ①309人増 | ①6,782人 | ①100%<br>(64.1%) | 計画目標①③は平成23年度までの計画（①累計1,280人増、③累計50か所増）を上回る事業進捗を図ることができ、②は平成23年度までの計画（累計33か所増）に対し、75.8%達成することができたが、④は平成23年度までの計画（累計2か所増）に対し、7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、④の遅れは開設を予定していた事業者の辞退によるものと、他事業者の開設希望もなかったことによるものである。 |
| | | | ②放課後児童クラブ施設数 | ②149か所 | ②200か所 | ②5か所増 | ②174か所 | ②75.8%<br>(49.0%) | |
| | | | ③放課後チャレンジスクール開催小学校区 | ③20か所 | ③全小学校区 | ③32か所増 | ③72か所 | ③100%<br>(63.4%) | |
| | | | ④特別支援学校放課後児童対策事業　補助対象施設 | ④5か所 | ④7か所 | ④0か所増 | ④6か所 | ④50.0%<br>(50.0%) | |
| 15 | 2219 | 児童虐待防止対策事業 | ①児童福祉司、児童心理司、児童精神科医師の増員 | ①－ | ①12人、3人、1人増員（平成24年度末） | ①3人、2人増員 | ①7人、3人 | ①100%<br>(62.5%) | ①の職員増員については、児童福祉司、児童心理司が計画どおり配置された。③の児童相談所入所児童の家族再統合の割合についても計画どおり進んでいる。④については、前年度から2.1%減少した。⑤については、計画目標どおり保健師を増員することができた。しかし②の虐待相談の対応のうち継続指導を行う割合について、平成23年度単年度目標である15%に対して7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け、「遅れ」とした。<br>なお、②の遅れの原因として、継続指導において、軽微な相談が増加したことが挙げられる。 |
| | | | ②虐待相談の対応のうち継続指導を行う割合 | ②3% | ②20%（平成24年度末） | ②6.8% | ②- | ②31.7%<br>(22.4%) | |
| | | | ③児童相談所入所児童の家族再統合の割合 | ③0% | ③75%（平成24年度末） | ③52.6% | ③- | ③100%<br>(73.1%) | |
| | | | ④育児をしていてイライラすることが多いと答えた幼児を持つ保護者の割合 | ④13.8% | ④10%以下（平成24年度末） | ④14.4% | ④- | ④0%<br>(0%) | |
| | | | ⑤保健師の増員及び保健所内の専任組織 | ⑤－ | ⑤4人増員、設置（平成23年度末） | ⑤3人増 | ⑤4人増員 | ⑤100%<br>(100%) | |
| 16 | 2302 | シルバー人材センター・シルバーバンク事業 | ①シルバー人材センターの会員数 | ①4,754人 | ①6,600人 | ①192人減 | ①4,960人 | ①16.5%<br>(11.2%) | 計画目標③は、平成23年度までの計画（250件/年まで増）を上回る事業進捗を図ることができたが、①②は、平成23年度までの計画（①累計1,246人増、②88%まで増）に対し、それぞれ7割以下の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、①②の遅れは、経済情勢による影響が大きく、単発の請負業務を数多く受注し、就業率の向上へは繋げたが、会員数については減少したことによる。 |
| | | | ②年間就業率 | ②85% | ②90% | ②85.2% | ②- | ②6.7%<br>(4.0%) | |
| | | | ③シルバーバンクのマッチング数 | ③38件/年 | ③350件以上 | ③341件 | ③- | ③100%<br>(97.1%) | |
| 17 | 2303 | シニアユニバーシティ事業 | ①定員 | ①1,132人 | ①1,245人（平成24年度末） | ①70人増 | ①1,262人 | ①100%<br>(100%) | 計画目標①②は平成23年度までの計画どおり実施することができた。③は平成23年度までの計画（2割増）に対し、90%の達成率であり、概ね順調であった。しかし、④は年度目標の100人に対し、達成率が5%であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、この原因はシニアユニバーシティでの働きかけがまだ不足しているものと考えている。 |
| | | | ②卒業生の活動拠点 | ②検討 | ②整備（平成24年度末） | ②整備 | ②整備 | ②-<br>(-) | |
| | | | ③卒業生の校友活動参加割合 | ③7割 | ③9割以上（平成24年度末） | ③8.8割 | ③- | ③90.0%<br>(90.0%) | |
| | | | ④大学院卒業生のシルバーバンク登録 | ④2人/年 | ④2割100人/年（平成22年度以降） | ④5人/年 | ④- | ④5.0%<br>(5.0%) | |

| | コード | 事業名 | 計画目標 | | | 平成23年度実績 | | | 「遅れ」の理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目標指標 | 平成20年度末 | 平成25年度末 | 事業量（単年） | 事業量（累計） | 計画目標進捗率 | |
| 18 | 2306 | 高齢者サロン・老人福祉センター整備事業 | ①高齢者サロン実施地区 | ①２６地区 | ①４７地区（平成２４年度末） | ①1地区増 | ①31地区 | ①45.5%<br>(23.8%) | 目標指標①について、平成23年度までの計画（累計11地区増）に対し、実績が5地区増と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け、「遅れ」とした。<br>なお、①の遅れの理由は、市から地域へのアプローチ不足、会場の確保、地域ごとの実情の差などが考えられる。 |
| | | | ②老人福祉センター | ②8か所（8区） | ②１０か所（１０区） | ②1か所増 | ②9か所 | ②100%<br>(50.0%) | |
| 19 | 2308 | 介護予防事業 | ①市の健康寿命 | ①男性１６.４年、女性１９.２年（平成１９年） | ①男性１７.０年、女性１９.５年（平成２４年） | ①男性0.2年増、女性0.1年増(平成22年) | ①男性17.0年、女性19.7年（平成22年） | ①-<br>(男性100%、女性100%※平成22年実績による) | 計画目標③は平成23年度までの計画どおり実施することができたが、②④は平成23年度までの計画（②502人増、④55人増）に対し、それぞれ7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、②については事業対象者の参加同意が得られない場合が多かったことによるものであり、④は一部施設において参加者が増えなかったことによるものである。 |
| | | | ②介護予防特定高齢者施策事業の参加者 | ②1,０９８人 | ②1,８００人（平成２４年度末） | ②1,304人 | ②- | ②41.0%<br>(29.3%) | |
| | | | ③介護予防一般高齢者施策事業の参加者 | ③１１,３４８人 | ③１５,０００人（平成２４年度末） | ③26,456人 | ③- | ③100%<br>(100%) | |
| | | | ④介護予防水中運動教室事業の参加者 | ④１３５人 | ④２３０人（平成２４年度末） | ④155人 | ④- | ④36.4%<br>(21.1%) | |
| 20 | 2309 | 介護人材等育成支援事業 | ①介護福祉士の資格取得を目的とした講座 | ①未実施 | ①資格取得対策講座　受講者数２８０人（筆記試験対策講座２００人、実技試験対策介護技術講座８０人）（平成２１年度末）、実技試験免除講座受講者数　３２０人（平成２２～２３年度累計） | ①資格取得対策講座受講者　ー<br>実技試験免除講座受講者　151人 | ①資格取得対策講座受講者　144人<br>実技試験免除講座受講者<br>284人 | ①71.3%<br>(71.3%) | 計画目標③④は、平成23年度の計画どおり実施できた。しかし、①は平成23年度までの計画目標（累計600人）に対し428人となり計画目標の達成ができなかった。②は平成23年度までの計画(累計500人)に対し、実績が301人と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、計画目標②の遅れは、制度周知の不足が原因と考えられる。 |
| | | | ②新規ホームヘルパー2級有資格者数 | ②ー | ②６００人（平成２２～２４年度累計） | ②194人増 | ②301人 | ②60.2%<br>(50.2%) | |
| | | | ③地域福祉情報・研修センターでの研修講座数 | ③1講座 | ③１７講座（平成２４年度末） | ③8講座増 | ③9講座 | ③100%<br>(50.0%) | |
| | | | ④国への介護報酬引き上げ要望状況 | ④全国市長会等を通じて実施 | ④実施 | ④市単独の要望等を通じて実施 | ④市単独の要望等を通じて実施 | ④100%<br>(100%) | |
| 21 | 2403 | 精神障害者退院支援事業 | 社会的入院精神障害者の減少 | ５５人減少(平成１８～２０年度実績) | １０２人減少（平成１８～２３年度累計） | 9人 | 90人 | 74.5%<br>(74.5%) | 平成23年度末までの計画目標（102人減少)に対し、90人の減少となり目標に達しなかったことから、計画目標達成に向け「遅れ」とした。 |

| | コード | 事業名 | 計画目標 | | | 平成23年度実績 | | | 「遅れ」の理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目標指標 | 平成20年度末 | 平成25年度末 | 事業量（単年） | 事業量（累計） | 計画目標進捗率 | |
| 22 | 2404 | 障害者等地域生活支援事業 | ①事業 | ①実施・継続 | ①公平性の観点から、事業内容の見直しを検討・継続 | ①実施･継続 | ①実施･継続 | ①-<br>(-) | 計画目標③は平成23年度までの計画(218人)を上回る実績であり、①④は平成23年度までの計画どおり実施することができたが、②は平成23年度までの計画（25,000時間/月まで増)に対し、7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、②の遅れの理由として、移動支援から同行援護への移行が図られたことによる利用時間の減少が考えられる。 |
| | | | ②移動支援事業 | ②２２,０４０時間／月 | ②２５,０００時間／月（平成２３年度末） | ②166時間減 | ②21,785時間 | ②0%<br>(0%) | |
| | | | ③日中一時支援事業 | ③２０４人分／月 | ③２１８人分／月（平成２３年度末） | ③40人増 | ③275人 | ③100%<br>(100%) | |
| | | | ④障害者生活支援センター | ④各区に配置 | ④相談支援体制の充実（平成２３年度末） | ④充実 | ④充実 | ④-<br>(-) | |
| 23 | 2408 | 障害者援護施設整備促進事業 | 障害福祉サービス事業所数 | １５か所 | ２０か所 | 1か所増 | 17か所 | 66.7%<br>(40.0%) | 平成23年度までの計画（累計3か所増）に対し、実績が累計2か所増と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、平成23年度事業の一部を平成24年度に繰越したためである。 |
| 24 | 2410 | 障害者スポーツ振興事業 | ①障害者スポーツ教室 | ①１０競技１５教室開催　参加人数２８６人 | ①１２競技２０教室　参加人数６００人 | ①12競技<br>16教室<br>343人 | ①- | ①26.6%<br>(18.2%) | 計画目標③では計画目標を達成し、②は平成23年度の計画どおり実施できたが、①は平成23年度までの目標（500人/年まで増）に対し7割未満の達成率となったため、計画目標達成に向けて「遅れ」とした。<br>なお、①の遅れは、荒天の影響や雨天中止等があり、目標参加人数を達成できなかったことが挙げられる。 |
| | | | ②全国障害者スポーツ大会 | ②（おおいた大会）個人5競技１７人 | ②参加枠内での支援体制の充実 | ②（山口大会）個人6競技19人 | ②- | ②-<br>(-) | |
| | | | ③ふれあいスポーツ大会参加者数 | ③８００人 | ③1,０００人 | ③1,014人 | ③- | ③100%<br>(100%) | |
| 25 | 2501 | 健康づくり推進事業 | ①市の健康寿命 | ①男性１６.４年、女性１９.２年（平成１９年） | ①男性１７.０年、女性１９.５年(平成２４年) | ①男性0.2年増、女性0.1年増(平成22年) | ①男性17.0年、女性19.7年（平成22年） | ①-<br>(男性100%、女性100%※平成22年実績による) | 計画目標①～④の平成23年度実績が未算出である。①②は平成23年度の取組は計画どおりに実施した。健康フォーラムの参加者も目標の300人を超えた（313人）参加があった。また、健康倍増ガイドブックの配布についても、平成23年10月末の配布から平成23年度末までに約10,000冊配布し、いきいき健康づくりグループ育成については各区で継続し支援を行っている。平成24年度は、ヘルスプラン21の最終評価･次期計画策定になっているので、②は、平成24年度に評価し、結果は次期計画（平成25年度から）に反映させていく。③④について、特定健康診査は、平成23年度の計画（受診率60%）に対し、費用決済より算出した見込みによる受診率は34.3%であり、7割未満の達成率であると考えられるため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。 |
| | | | ②意識的に体を動かすなど運動している市民の割合 | ②男性２７.３%　女性２２.３%（平成１７年） | ②男性３５%以上、女性２６%以上(平成２４年度末) | ②平成24年度に調査予定 | ②平成24年度に調査予定 | ②-<br>(-) | |
| | | | ③特定健康診査受診率 | ③３５.３% | ③６５%以上(平成２４年度) | ③集計中 | ③集計中 | ③-<br>(-) | |
| | | | ④特定保健指導実施率 | ④1.８% | ④４５%以上(平成２４年度) | ④集計中 | ④集計中 | ④-<br>(-) | |

| | コード | 事業名 | 計画目標 | | | 平成23年度実績 | | | 「遅れ」の理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目標指標 | 平成20年度末 | 平成25年度末 | 事業量（単年） | 事業量（累計） | 計画目標進捗率 | |
| 26 | 2502 | 食育推進事業 | ①食事バランスガイドの言葉を知っている人 | ①47.8%（平成19年度） | ①60%以上（平成23年度） | ①70.7% | ①- | ①100%<br>(100%) | 計画目標①③④⑥は平成23年度までの計画どおり実施することができたが、②は平成23年度までの計画（平成19年度の20%増）に対し、実績が7割未満の達成率であり、⑤は、平成23年度までの計画（累計0.3回増）に対し、実績は0.2回増と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、計画目標②の実績(数値）については、市民調査の「食育推進活動に関わる人」の割合により把握したものであるが、食育の取組の状況や市のポータルサイト「食育なび」の登録団体数は徐々に増えてきているため、原因は不明確。今後さらに分析をしていきたい。また、⑤については、各校で施設設備、調理員数に大きな差があり、主に洗米機や炊飯器が設置されていない学校での実施回数増加が難しいことによるものである。 |
| | | | ②食育推進活動に関わる人 | ②3.8%（平成19年度） | ②現状の20%増（平成23年度） | ②4.0% | ②- | ②1.0%<br>(1.0%) | |
| | | | ③食育研究指定校 | ③2校 | ③15校（平成21～25年度累計） | ③3校 | ③11校 | ③100.%<br>(69.2%) | |
| | | | ④給食における県内地場産物活用率 | ④18.7% | ④30%（平成24年度末） | ④5.9ポイント増 | ④27.2% | ④100%<br>(75.2%) | |
| | | | ⑤給食における米飯実施回数 | ⑤3.1回/週 | ⑤3.5回/週（平成24年度末） | ⑤0.2回増/週 | ⑤3.3回/週 | ⑤66.7%<br>(50.0%) | |
| | | | ⑥地元シェフによる学校給食実施校 | ⑥1校 | ⑥45校（平成24年度末） | ⑥15校増 | ⑥26校 | ⑥100%<br>(56.8%) | |
| 27 | 2503 | 地域医療推進事業 | ①二次・三次小児救急医療機関で受診していた初期救急患者の割合 | ①62% | ①35%以下（平成24年度末） | ①4%減 | ①10% | ①100%<br>(100%) | 計画目標①～④は、平成23年度までの計画どおりに実施できたが、⑤は平成23年度までの計画（2,600件まで増）に対し、7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、⑤の目標は、相談件数の増加でなく、相談を通して納得いく解決を導くことや患者と医療機関との良好な関係を築く様々な支援を推進していくことが事業本来の目標であると考え、計画目標の変更を行うものである。 |
| | | | ②地域周産期母子医療センター | ②1か所 | ②2か所（平成24年度末） | ②0か所増 | ②2か所 | ②100%<br>(100%) | |
| | | | ③AED | ③設置促進 | ③設置促進 | ③設置促進 | ③設置促進 | ③-<br>(-) | |
| | | | ④「医療なび」医療機関の検索数 | ④月平均7,400件 | ④月平均9,400件 | ④14,823件 | ④- | ④100%<br>(100%) | |
| | | | ⑤医療安全相談事業年間相談件数 | ⑤1,815件 | ⑤3,000件 | ⑤1,585件 | ⑤- | ⑤0%<br>(0%) | |
| 28 | 2602 | 動物愛護推進事業 | ①犬猫譲渡率 | ①13% | ①20% | ①34% | ①- | ①100%<br>(100%) | 計画目標①は平成22年度末時点で平成25年度末計画目標を達成したが、②は平成23年度までの計画（5%増)に対し、実績が1%増と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは登録犬の実数の把握ができておらず、また狂犬病予防注射接種義務についての普及啓発が行き届いていないためである。 |
| | | | ②狂犬病予防注射接種率 | ②68% | ②75% | ②69% | ②- | ②20.0%<br>(14.3%) | |
| 29 | 3111 | 子どものための体力向上サポートプラン | ①子どものための体力向上サポートプラン | ①推進 | ①充実（なわとび・逆上がりプロジェクトの実施） | ①なわとび･逆上がりプロジェクトの実施 | ①充実 | ①-<br>(-) | 計画目標①②③は平成23年度までの計画どおり実施することができたが、④は計画目標（平成24年度末で80%）に対し、平成23年度実績が70.5%にとどまっているため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、④の遅れは、逆上がり補助板や逆上がり補助具を計画的に全校配置してきたが、活用が進んでいる学校と進んでいない学校があることによるものである。 |
| | | | ②長縄8の字跳びに挑戦する参加グループ数 | ②約1,200 | ②1,400（平成22年度末） | ②3,708 | ②- | ②100%<br>(100%) | |
| | | | ③逆上がり（補助板活用）成就率 | ③91% | ③93%（平成22年度末） | ③94.1% | ③- | ③100%<br>(100%) | |
| | | | ④逆上がり（補助板未活用）成就率 | ④70% | ④80%（平成24年度末） | ④70.5% | ④- | ④-<br>(5.0%) | |

| | コード | 事業名 | 計画目標 | | | 平成23年度実績 | | | 「遅れ」の理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目標指標 | 平成20年度末 | 平成25年度末 | 事業量（単年） | 事業量（累計） | 計画目標進捗率 | |
| 30 | 3114 | 国際教育・交流事業 | ①市立中学校の海外派遣 | ①全市立中学校の代表1名を海外へ派遣 | ①全市立中学校の代表1名を海外へ派遣 | ①56名派遣 | ①- | ①98.2%<br>(98.2%) | 計画目標①は、ほぼ計画どおり実施することができたが、②については、登録者数が平成22年度から増減なく、平成20年度末の10名より減少したままとなっているため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、計画目標②の遅れは、平成21年度に「地域講師派遣事業」が中止となり、平成22年度からは有償だったものが無償となったことに伴い、登録者の増加が難しい状況である。 |
| | | | ②外国人ボランティア登録者数 | ②１０人 | ②５０人 | ②増減なし | ②7名 | ②0%<br>(0%) | |
| 31 | 3115 | 教育情報ネットワーク推進事業 | ①普通教室等LAN整備 | ①６５校で活用 | ①全校で活用（平成２３年度完了予定） | ①11校増 | ①140校 | ①78.9%<br>(78.9%) | 計画目標②は平成23年度までの計画どおり実施できたが、①は平成23年度までの計画（160校全校で活用し、完了）に対し、140校での活用に留まったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、①については費用対効果の観点から整備計画を見直し、平成24年5月に整備を完了（160校で活用）した。 |
| | | | ②図書館コンピュータ | ②全校で活用 | ②全校で活用 | ②全校（159校）で活用 | ②全校（159校）で活用 | ②100%<br>(100%) | |
| 32 | 3117 | 教育ファーム・市民農園整備事業 | ①学校教育ファーム実施校数 | ①１８校（見沼田圃内実施校小学校4校） | ①全小中学校（小学校１０２校、中学校５７校）（見沼田圃内実施校小学校３０校、中学校２０校）（平成２４年度） | ①72校増<br>見沼田圃内<br>2校増 | ①154校<br>見沼田圃内<br>14校 | ①100%<br>(96.5%)<br>見沼田圃内<br>32.3%<br>(21.7%) | 計画目標②の市民農園については、平成23年度までの計画（累計24ヵ所増）に対し、95.8%達成できたが、①の学校教育ファームについては、市域全体では平成23年度までの計画（累計107校増）を上回る事業進捗を図れたものの、見沼田圃内では、平成23年度までの計画（累計31校増）に対し、実績は10校増と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、①の遅れは、児童生徒の移動手段や授業時間の確保、田畑を維持する支援者の確保等に課題があることによるものである。 |
| | | | ②市民農園数 | ②４０か所（見沼田圃内市民農園数　3か所） | ②７２か所（見沼田圃内9か所）（平成２４年度末） | ②16か所増<br>見沼田圃内<br>3か所増 | ②63か所<br>見沼田圃内<br>8か所 | ②95.8%<br>(71.9%)<br>見沼田圃内<br>-<br>(83.3%) | |
| 33 | 3118 | 高校教育・中高一貫教育校推進事業 | 市立高校に在学する生徒の満足度 | ８０から９０％ではあるが、保護者等から充実を求める声もある。 | 生徒・保護者の満足度１００％（平成２４年度末） | 91.6% | - | 66.0%<br>(44.0%) | 平成23年度に実施した「市立高等学校教育満足度調査」の4高等学校の生徒・保護者の満足度の平均は91.6%であったものの、平成23年度までの計画（累計10%増）に対し、実績が6.6%増と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは校舎や教室、設備の使いやすさに対する満足度が低いことによるものである。 |
| 34 | 3120 | 学校施設改修等推進事業 | 学校施設の改修 | 事業中 | 推進 | 推進 | 推進 | -<br>(-) | 39件の市立小・中・高等学校の校舎・体育館・プール等の改修工事を行ったが、昨年度に比べ約6割の件数となっている。建物の機能を適切に維持するためには、更なる事業量の拡大が必要であるため、「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、平成24年度末を目標とした学校施設の耐震化を最優先にしていることによるものである。 |

| | コード | 事業名 | 計画目標 | | | 平成23年度実績 | | | 「遅れ」の理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目標指標 | 平成20年度末 | 平成25年度末 | 事業量（単年） | 事業量（累計） | 計画目標進捗率 | |
| 35 | 3201 | （仮称）武蔵浦和図書館整備事業 | （仮称）武蔵浦和図書館 | 実施設計 | 開館（平成２４年度） | 図書購入<br>備品購入 | 保留床取得（用地費）<br>図書購入<br>備品購入 | -<br>(-) | サウスピア火災事故により建設工事が年度内に完了せず、施設内への備品等の搬入が不可能となった。未執行の案件について平成24年度に繰り越すこととなったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>また、保留床（工事費）の取得は、平成24年度の見込みである。 |
| 36 | 3306 | （仮称）さいたま市スポーツ振興まちづくり条例制定事業 | ①さいたま市スポーツ振興まちづくり条例 | ①未制定 | ①制定（平成２１年度末） | ①- | ①制定（平成21年度） | ①-<br>(100%) | **計画目標②は平成23年度中に計画を策定し、計画目標を「達成」したが、③は計画策定後に推進組織を設置する予定としていたものの、設置に至らなかったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、関係団体との調整に時間を要していることによるものである。** |
| | | | ②スポーツ振興まちづくりに関する計画 | ②未策定 | ②策定 | ②策定 | ②策定 | ②100%<br>(100%) | |
| | | | ③推進組織 | ③未設置 | ③設置 | ③未設置 | ③未設置 | ③-<br>(-) | |
| 37 | 3307 | 多目的広場整備事業 | ①多目的広場整備方針 | ①未策定 | ①策定（平成２２年6月まで） | ①- | ①策定（平成22年度） | ①-<br>(100%) | **計画目標②は計画目標を「達成」し、③⑤⑥は平成23年度までの計画どおり実施できたが、④は平成23年度までの計画（累計2か所）に対し、実績が0か所と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、④の遅れは、大学敷地内におけるスペースの確保が難しく、また、管理責任に関する課題もあり、大学との調整、協議に時間を要していることによるものである。** |
| | | | ②市有農業施設内の多目的広場数 | ②－ | ②3か所（平成２４年度末） | ②2か所増 | ②3か所 | ②100%<br>(100%) | |
| | | | ③民有地を活用した広場数 | ③2か所 | ③4か所（平成２４年度末） | ③1か所増 | ③3か所 | ③100%<br>(50.0%) | |
| | | | ④大学との連携による多目的広場数 | ④－ | ④3か所（平成２４年度末） | ④0か所 | ④0か所 | ④0%<br>(0%) | |
| | | | ⑤（仮称）スポーツふれあい広場数 | ⑤－ | ⑤各区1か所（平成２４年度末） | ⑤4か所増 | ⑤6か所 | ⑤100%<br>(60.0%) | |
| | | | ⑥都市公園内のグラウンド等の個人への開放 | ⑥未実施 | ⑥実施（平成２３年度） | ⑥実施 | ⑥実施 | ⑥100%<br>(100%) | |
| 38 | 3308 | 総合型地域スポーツクラブ支援事業 | 総合型地域スポーツクラブ | 各区１クラブ以上達成 | 各クラブ会員数5％増 | 会員数合計<br>4.2%減（対前年度比） | 会員数合計<br>7.2%増 | -<br>(-) | **全クラブの会員数合計は平成20年度の5,164人から5,538人と374人（7.2%）増加しているが、昨年度の5,783人から5,538人と245人（4.2%）減少し、計画目標を達成しているクラブ数も、昨年度と同様11クラブ中6クラブと7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、クラブの運営状況や規模により、会員数の拡大よりも内容の充実を図っているクラブもあることによるものと考えられる。** |
| 39 | 3309 | さいたまシティカップ開催事業 | 累計入場者数 | ２８万２千人 | ５０万人 | - | 29万9千人 | 13.0%<br>(8.0%) | **平成23年度までの計画（累計130,800人増）に対し、実績が約17,000人増と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、平成23年度は東日本大震災の影響等でシティカップが開催できなかったこと及び平成21年度以降、収容人数が目標とする観客数を下回る会場で開催したことなどによるものである。** |

| | コード | 事業名 | 計画目標 | | | 平成23年度実績 | | | 「遅れ」の理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目標指標 | 平成20年度末 | 平成25年度末 | 事業量（単年） | 事業量（累計） | 計画目標進捗率 | |
| 40 | 3310 | サッカーのまちづくり推進事業 | 市内の施設でサッカーに親しむ（する・見る・学ぶ）人々の数 | 150万人 | 160万人 | 1,098,315人 | - | 0%<br>(0%) | 平成23年度末の計画（156万人)に対し、実績が約110万人と平成20年度末の150万人を大きく下回ったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、浦和駒場スタジアムの改修に伴う利用者数の減少やJリーグの観客動員数の減少によるものである。 |
| 41 | 3403 | 文化・芸術まちづくり創造事業 | ①新たな仕組み | ①未実施 | ①創設（平成22年度末） | ①- | ①- | ①-<br>(-) | 計画目標②は計画目標を「達成」したが、①については、仕組みの考え方を平成22年度に構築したものの、見直すこととしたため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。 |
| | | | ②新たな文化・芸術事業 | ②未実施 | ②実施（平成23年度末） | ②ジュニアソロコンテスト、「フリーカルチャービレッジインさいたま新都心」を実施 | ②- | ②100%<br>(100%) | |
| 42 | 3405 | （仮称）岩槻人形会館整備事業 | 岩槻人形会館 | 施設基本設計 | 開館（平成24年度） | 所蔵品展や講演会の開催等 | 用地取得<br>実施設計 | -<br>(-) | 岩槻地区の団体からの要望書への対応、地元における機運の醸成、岩槻区のまちづくりとの整合性を図ることなどにより、2年程度の期間をかけて取り組むこととしたため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。 |
| 43 | 4102 | 参加型まちづくり支援・育成事業 | ①読者モニター登録数 | ①41人 | ①100人 | ①8人減 | ①67人 | ①66.7%<br>(44.1%) | 計画目標②は、平成23年度までの計画（累計75団体）に対し96.0%達成できたが、①は平成23年度までの計画（累計39人増）に対し、実績が26人増と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、①の遅れは、年度当初に東日本大震災の影響で市報に読者モニター募集のお知らせを掲載できなかったことによるものである。 |
| | | | ②まちづくり支援補助金交付団体数 | ②24団体（平成20年度） | ②85団体（平成21～25年度累計） | ②24団体 | ②72団体 | ②96.0%<br>(84.7%) | |
| 44 | 4105 | 駅前・まちなかにぎわい創出事業 | ①駅前事業認定団体数 | ①3団体(平成18～20年度累計) | ①5団体(平成21～25年度累計) | ①0団体 | ①0団体 | ①0%<br>(0%) | 計画目標①については、7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、①の遅れについては、当該事業は複数の団体等が共同して実施する主体的な取組を支援するという性質の事業であり、具体的な実施予定地や実施団体が出てきていない状況によるものである。 |
| | | | ②まちなかにぎわい 認定事業 | ②8事業(平成17～20年度累計) | ②10事業(平成21～25年度累計) | ②- | ②2事業<br>※平成21年度で事業終了 | ②-<br>(20%) | |

| | コード | 事業名 | 計画目標 | | | 平成23年度実績 | | | 「遅れ」の理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目標指標 | 平成20年度末 | 平成25年度末 | 事業量（単年） | 事業量（累計） | 計画目標進捗率 | |
| 45 | 4106 | 大宮駅周辺地域戦略ビジョン推進事業 | ①地域戦略ビジョン | ①策定中 | ①地域戦略ビジョンの策定（平成２１年度） | ①- | ①策定（平成21年度） | ①-<br>(100%) | 計画目標②は、平成23年度までの計画（基本計画の策定）に対し検討作業を進めてきたが、計画どおり実施できなかったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、②の遅れは、主に関連する大門町2丁目中地区の再開発の基本計画案が確定していないことによるものである。 |
| | | | ②大宮駅東口公共施設の再編 | ②大宮駅東口公共施設の再編に向けた検討 | ②基本計画に基づく再編の推進 | ②基本計画の検討･調整 | ②基本計画の検討･調整 | ②-<br>(-) | |
| 46 | 4107 | 大宮駅東口都市再生プラン推進事業 | ①氷川参道整備事業 | ①歩車分離整備工事の実施 | ①－１歩行者専用道路化に必要な側道用地の買収着手<br>①－２参道にふさわしいまちづくりガイドラインの導入 | ①推進 | ①推進 | ①-<br>(-) | 計画目標①は、規範づくりに必要な調査を行い、計画どおり実施できたが、計画目標②③⑤は、平成23年度までの計画（②用地取得20件、③事業化、⑤基本計画案の確定）を達成できず、また、④は再構築に必要な具体的な検討作業までには至らなかったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、②の遅れは、権利者との用地交渉に時間を要していること、③の遅れは権利者等との合意形成に時間を要していること、④⑤の遅れは、権利者意向を取り入れた事業の枠組みづくりに時間を要していることによるものである。 |
| | | | ②氷川緑道西通線の整備 | ②街路事業の認可 | ②用地取得完了（平成２４年度末） | ②用地取得（2件） | ②用地取得（8件） | ②40.0%<br>(30.8%) | |
| | | | ③大宮駅東口駅前広場の整備 | ③関係権利者との交渉 | ③駅前広場用地の買収開始（平成２３年度末） | ③関係権利者との交渉実施 | ③関係権利者との交渉実施 | ③-<br>(-) | |
| | | | ④大宮駅東口駅前南地区の再開発 | ④検討中 | ④準備組合設立 | ④事業計画の検討 | ④事業計画の検討 | ④-<br>(-) | |
| | | | ⑤大門町２丁目中地区の再開発 | ⑤準備組合の設立 | ⑤再開発組合設立（平成２４年度末） | ⑤基本計画案の検討･調整 | ⑤基本計画案の検討･調整 | ⑤-<br>(-) | |
| 47 | 4112 | 浦和駅西口南高砂地区市街地再開発事業 | 浦和駅西口南高砂地区市街地再開発事業 | 推進（平成１９年9月都市計画決定） | 完了（平成２４年度） | 推進 | 推進 | -<br>(-) | 平成23年度の取組は、組合設立を目指し、平成22年度に理事会にて決議した2街区案から1街区案への都市計画変更を行った。昨今の厳しい経済状況により、組合設立に向けての地元合意形成に時間を要したため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。 |
| 48 | 4114 | 日進駅周辺まちづくり推進事業 | ①日進駅北口整備 | ①仮駅舎供用開始 | ①完了(平成２２年度) | ①- | ①完了（平成22年度） | ①-<br>(100%) | 計画目標②について、南口駅前広場の整備が完了していないことから、「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、南口駅前広場用地の取得が難航していることによるものである。 |
| | | | ②駅前広場及びアクセス道路等の整備 | ②自由通路・駅舎橋上工事着手 | ②完了(平成２２年度) | ②推進 | ②一部完了（北口駅前広場･アクセス道路） | ②-<br>(-) | |
| 49 | 4115 | 武蔵浦和駅周辺地区市街地再開発事業 | ①第1街区 | ①事業計画認可 | ①B1ブロック完成（平成２３年度） B2ブロック完成（平成２４年度） | 推進 | 推進 | -<br>(-) | 計画目標①については、平成23年度完成予定であったB1ブロックが火災の影響により、未完成となり、また、②については、権利者との合意に時間を要し、工事の着工が遅れたため、計画目標達成に向け、「遅れ」とした。 |
| | | | ②第3街区 | ②公共事業再評価 | ②工事完了（平成２５年度） | 権利変換計画認可 | 権利変換計画認可 | -<br>(-) | |
| 50 | 4118 | 岩槻南部新和西特定土地区画整理事業 | 進捗率 | ４４.８% | １００% | 8.10%増 | 68.3% | 68.4%<br>(42.6%) | 平成23年度までの計画（累計34.36%増）に対して、実績が23.5%増と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、移転交渉、軟弱地盤の地盤改良工事等に時間がかかっていることによるものである。 |

| | コード | 事業名 | 計画目標 | | | 平成23年度実績 | | | 「遅れ」の理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目標指標 | 平成20年度末 | 平成25年度末 | 事業量（単年） | 事業量（累計） | 計画目標進捗率 | |
| 51 | 4119 | 浦和美園駅東口駅前複合公共施設整備事業 | 複合公共施設 | 構想 | 整備完了 | 推進 | 推進 | -<br>(-) | 導入機能施設等について関係各課と詳細な協議を行い、基本構想をとりまとめたが、当初計画目標である、平成25年度末までの整備完了には至らないことから、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、公共施設マネジメント方針との整合を図るため、再度、導入機能、規模等を精査する必要が生じたことによるものである。 |
| 52 | 4207 | 橋りょう架替整備事業 | 整備橋りょう数 | 0橋 | 4橋 | 1橋増 | 2橋 | 66.7%<br>(50.0%) | 平成23年度までの計画（3橋増）に対し、実績が2橋増と7割未満の達成であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、河川管理者との協議・調整に時間を要したことによるものである。 |
| 53 | 4209 | 橋りょう長寿命化修繕事業 | 維持管理計画に基づき補修、補強工事を実施した橋りょう数 | 1橋 | 16橋 | 2橋増 | 4橋 | 50.0%<br>(20.0%) | 定期点検は計画どおり実施できたが、平成23年度までの計画（6橋増）に対し、実績が3橋増と7割未満の達成であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、関係機関との調整に時間を要したことによるものである。 |
| 54 | 4212 | 交通渋滞解消事業（さいたまの道スムーズプラン） | 交通渋滞解消事業 | 事業中 | 推進 | 推進 | 推進 | -<br>(-) | 事業箇所の選定に時間を要しており、計画目標達成に向け「遅れ」とした。 |
| 55 | 4214 | 埼玉高速鉄道（地下鉄7号線）延伸促進事業 | ①埼玉高速鉄道（地下鉄７号線）延伸促進 | ①事業化へ向けた検討 | ①事業中（鉄道事業者） | ①調査・検討 | ①調査・検討 | ①-<br>(-) | 計画目標②は、平成23年度までの計画（6,400人増）に対し、実績が900人増と7割未満の達成率であったため、「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、東日本大震災を受けての出控えや、サッカー開催時の利用者の減少などが理由として考えられる。 |
| | | | ②埼玉高速鉄道線の１日当たりの利用者数 | ②83,800人 | ②101,000人 | ②84,700人 | ②- | ②14.1%<br>(5.2%) | |
| 56 | 4215 | 市内路線バス・コミュニティバス整備事業 | ①路線バス利用者数 | ①150,000人／日 | ①160,000人／日 | ①145,162人/日 | ①- | ①0%<br>(0%) | 計画目標②③は、目標を達成することができたが、①は平成23年度の目標である156,000人/日に対し、10,838人/日少ない145,162人/日であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、①の遅れは、マイカー普及などに伴う路線バス離れ等によるものと考えられる。 |
| | | | ②ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾞｽ利用者数 | ②215,000人／年 | ②250,000人／年 | ②307,360人/年 | ②- | ②100%<br>(100%) | |
| | | | ③検討委員会での検討結果 | ③検討未実施 | ③検討結果公表（平成２２年度末） | ③- | ③検討結果公表（平成22年度末） | ②-<br>(100%) | |

| | コード | 事業名 | 計画目標 | | | 平成23年度実績 | | | 「遅れ」の理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目標指標 | 平成20年度末 | 平成25年度末 | 事業量（単年） | 事業量（累計） | 計画目標進捗率 | |
| 57 | 4216 | 駅前広場改修事業 | 大宮駅西口駅前広場 | 設計 | 完了（平成２３年度） | 事業中 | 事業中 | - | 計画目標である平成23年度事業完成に至らず、事業中であるため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、バス事業者との調整に時間を要したによるものである。 |
| 58 | 5106 | コミュニティビジネス支援事業 | ①コミュニティビジネス育成のための新たな支援制度 | ①検討 | ①構築（平成２３年度末） | ①個別相談会2回開催、交流会（トークカフェ）3回開催、ニュースレタ1回発行 | ①推進 | ①-<br>(-) | 計画目標②は概ね平成23年度までの計画（累計83件）どおりの事業進捗が図れたが、①は事業計画を見直し、新たな支援制度構築に向けた事業着手段階にあることから、計画目標達成に向け「遅れ」とした。 |
| | | | ②さいたま市ニュービジネス大賞コミュニティビジネス賞に係る累積応募件数 | ②３１件 | ②１００件（平成２４年度末累積） | ②19件増 | ②82件 | ②98.1%<br>(73.9%) | |
| 59 | 5201 | 魅力ある商店街創出事業 | 商店街個店バリューアップ事業 | 検討 | 推進 | 推進（16店舗支援） | 推進 | -<br>(-) | 平成21年度から平成23年度まで、商店街の核となる繁盛店・人気店づくりを目指して、商店街個店バリューアップ事業を実施してきたが、個店の活性化に向けては、経営者の主体的な取組を促すことが必要不可欠であり、そのことから、個店の潜在的ニーズに対応した支援事業に見直しを図る必要性が生じたことを鑑み、計画目標達成に向け「遅れ」とした。 |
| 60 | 5203 | 中小企業支援事業 | ①経営革新のための専門家派遣 | ①２７社 | ①１２５社(平成２１～２５年度累計) | ①1件 | ①5件 | ①6.7%<br>(4.0%) | 計画目標③④はすでに平成22年度に達成しているが、①②は平成23年度までの計画（①累計75件、②累計31件）に対し、実績が①累計5件、②累計4件とそれぞれ7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、①②の遅れは、中小企業者等が抱える様々な課題に対し、さいたま市産業創造財団に登録する民間の専門家を企業に派遣し経営、技術、販促等に対するアドバイスは約100回実施したものの、「経営革新」に関する派遣要請が少なかったことによるものである。 |
| | | | ②経営革新計画承認企業数 | ②9社 | ②４５社(平成２１～２５年度累計) | ②1件 | ②4件 | ②12.9%<br>(8.9%) | |
| | | | ③既存融資制度の見直し | ③ー | ③見直し・条件緩和（平成２２年度末） | ③- | ③見直し･条件緩和（平成22年度末） | ③-<br>(100%) | |
| | | | ④中小企業等への新たな融資制度 | ④ー | ④創設（平成２３年度末） | ④- | ④研究開発資金の創設（平成22年度末） | ④-<br>(100%) | |
| 61 | 5204 | 観光資源の充実･整備事業 | ①年間入込観光客数 | ①2,１９９万人（平成２０年度） | ①2,４７７万人（平成２４年度） | ①2,131万人（平成22年度） | ①- | ①0%<br>(0%) | 計画目標②は、平成23年10月にスポーツコミッションを創設し、計画を半年前倒しして事業を開始することができた。<br>一方、①は平成23年度実績が算出中であるため、平成22年度実績を記載したが計画目標を達成しておらず、また、東日本大震災の影響などを考慮すると平成23年度においても、入込観光客数増加の目標達成は見込みにくいと考えられることから、計画目標達成に向け「遅れ」とした。 |
| | | | ②スポーツコミッション | ②ー | ②創設（平成２３年度末） | ②創設 | ②創設（平成23年度） | ②100%<br>(100%) | |

| | コード | 事業名 | 計画目標 | | | 平成23年度実績 | | | 「遅れ」の理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目標指標 | 平成20年度末 | 平成25年度末 | 事業量（単年） | 事業量（累計） | 計画目標進捗率 | |
| 62 | 5211 | CSR活動促進事業 | ①CSRホームページ | ①検討 | ①公表（平成２３年度末） | ①公表・推進 | ①公表・推進 | ①100%<br>(100%) | 計画目標③は、CSR等に関する国内のガイドラインとなる日本工業規格（JIS Z 26000）が平成24年3月に制定されたことに伴い、その趣旨を制度案に反映させる必要があり、平成24年度中に創設することとしたため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、①②は平成22年度に計画目標達成済みである。 |
| | | | ②市内企業を対象としたCSRセミナー | ②検討 | ②開催（平成２２年度末） | ②開催（平成24年3月） | ②開催（平成22年度～） | ②100%<br>(100%) | |
| | | | ③本市独自のCSR活動認証制度 | ③― | ③創設（平成２３年度末） | ③認証制度素案策定 | ③認証制度素案策定 | ③-<br>(-) | |
| 63 | 5301 | ベンチャービジネス支援事業 | ①支援事業による累積創業件数 | ①９２件 | ①２１０件（平成２４年度末） | ①25件増 | ①194件 | ①100%<br>(86.4%) | 計画目標①②③は平成23年度まで計画どおりに実施できたが、④は平成23年度までの計画（累計6件）に対し、実績が4件と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、④の遅れの理由は、さいたま市産業創造財団の重点支援先を対象とし、支援することにより事業化や雇用拡大などの効果が期待でき、かつ、経済産業省の「産業構造ビジョン2010」及びさいたま市の「産業振興ビジョン」等の政策に沿ったテーマで、大学等の研究機関と連携して進められた技術開発事業と条件を限定しているため、対象となる案件が少なかったことによるものである。 |
| | | | ②創業ベンチャーサポート塾 | ②未開設 | ②開設（平成２２年度） | ②開設 | ②開設（平成22年度～） | ②-<br>(100%) | |
| | | | ③創業者を発掘する創業応援事業 | ③未実施 | ③実施（平成２３年度） | ③実施 | ③実施 | ③100%<br>(100%) | |
| | | | ④創業者を対象とした新製品開発補助件数 | ④― | ④１０件（平成２２～２４年度累計） | ④3件 | ④4件 | ④66.7%<br>(40.0%) | |
| 64 | 5306 | 中小企業勤労者福祉事業 | ①勤労者福祉サービスセンターの会員事業所数 | ①1,１０７所 | ①2,０４０所（平成２２年度） | ①40所減 | ①991所 | ①0%<br>(0%) | 計画目標①②ともに、平成23年度までの計画（①累計933所増、②累計4,971人増）に対し、実績が①116所減、②766人増とそれぞれ7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、①②の遅れは、これまで継続して新規会員の入会はあるものの、長期化する経済情勢の低迷により、会員の新規獲得及び既存会員の退会防止が難しくなっていることによるものである。 |
| | | | ②勤労者福祉サービスセンターの会員従業員数 | ②5,０２９人 | ②１０,０００人（平成２２年度） | ②596人増 | ②5,795人 | ②15.4%<br>(15.4%) | |
| 65 | 6102 | さいたま市既存建築物耐震補強等助成事業 | ①耐震化補助事業 | ①実施 | ①拡充補助事業の実施（平成２２年度） | ①補助事業の更なる拡充 | ①拡充補助事業の実施（平成22年度～） | ①100%<br>(100%) | 計画目標①②③は目標どおり平成22年4月1日から実施することができたが、④については、さいたま市建築物耐震改修促進計画期間（平成20年度から平成27年度までの8年間）の中間期にあたる平成23年度に耐震化の進捗状況を検証を行った結果、平成27年度末の耐震化率90%の計画目標に対し、平成23年度末までの住宅の耐震化率は86%、特定建築物の耐震化率は74%に留まってることから「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、経済情勢の悪化から自然更新のペースが鈍化したことによるものと考えられる。<br><br>※「平成27年度の耐震化率90%」を計画目標として設定しているため、年度ごとの事業量、進捗率は設定していない。 |
| | | | ②建替え補助制度 | ②なし | ②創設（平成２２年度） | ②- | ②創設（平成22年度） | ②-<br>(100%) | |
| | | | ③木造戸建て住宅耐震シェルター設置補助制度 | ③なし | ③創設（平成２２年度） | ③- | ③創設（平成22年度） | ③-<br>(100%) | |
| | | | ④耐震化率 | ④住宅８４%、特定建築物７０%（平成１９年度末） | ④住宅９０%、特定建築物９０%（平成２７年度末） | ④耐震化の進捗状況を検証 | ④住宅86%、特定建築物74%（平成23年度末） | ④※ | |

| | コード | 事業名 | 計画目標 | | | 平成23年度実績 | | | 「遅れ」の理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目標指標 | 平成20年度末 | 平成25年度末 | 事業量（単年） | 事業量（累計） | 計画目標進捗率 | |
| 66 | 6106 | 準用河川改修事業 | ①滝沼川延長 | ①2,057m | ①3,260m | ①120m増 | ①2,368m | ①42.1%<br>(25.9%) | 計画目標②は平成23年度までの計画とおり実施することができたが、①は平成23年度までの計画(738m増)に対して、実績が311m増と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは工事期間が長期になることや、気象条件等により施工時期が限られてしまうことから、やむを得ず繰越しとなってしまうことによるものである。 |
| | | | ②新川延長 | ②600m | ②1,020m | ②120m増 | ②821m | ②100%<br>(52.6%) | |
| 67 | 6109 | 消防署・所整備事業 | 整備 | 1施設実施中（緑消防署） | 6施設の整備(緑消防署、下町出張所、中央消防署岩槻消防署、太田出張所、火災調査室） | 1施設整備完了<br>1施設整備中 | 1施設整備完了<br>1施設整備中 | 33.3%<br>(16.6%) | 平成23年度までの計画（3施設整備）に対し、実績が1施設整備と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け遅れとした。<br>なお、遅れは建設計画に対する地元説明において一部理解が得られていないことによるもの。 |
| 68 | 6201 | 交通安全施設設置事業 | ①道路照明灯延べ設置数 | ①80,918灯 | ①88,200灯 | ①1,320灯増 | ①86,253灯 | ①100%<br>(73.3%) | 計画目標①は平成23年度までの計画（累計4,396灯増）を上回る事業進捗を図ることができた。②は、平成23年度までの計画（累計1,228基増）に対し、実績が679基増と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向けて「遅れ」としたが、今後とも市民からの要望等に迅速に対応し、必要箇所への設置を進めていく。 |
| | | | ②道路反射鏡延べ設置数 | ②14,852基 | ②16,900基 | ②193基増 | ②15,531基 | ②55.3%<br>(33.2%) | |
| 69 | 6301 | 上水道施設整備事業 | ①老朽管更新延長 | ①31km/年 | ①35km/年 | ①35km/年 | ①- | ①100%<br>(100%) | 計画目標①は平成23年度までの計画どおり実施できたが、②は平成23年度までの計画（累計26%増)に対し、実績が17%増と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、②の遅れは、工期が単年度で完了しないものが多く、現在進行中の工事が実績値に含まれていないことによるものである。工事発注は順調に行われており、実際の進捗状況に問題はない。 |
| | | | ②累計配水ポンプ更新率 | ②36%（20台／55台） | ②76%（42台／55台） | ②4%増<br>(2台増) | ② 53%<br>(29台/55台) | ②65.4%<br>(42.5%) | |
| 70 | 6308 | 墓地・火葬場周辺環境整備事業 | ①思い出の里第3期立体墓地の建設 | ①未着手 | ①完成 | ①- | ①完成（平成22年度） | ①-<br>(100%) | 計画目標②は、道路建設用地の取得及び家屋補償について進展していないことから、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、関係権利者との交渉が難航していることによるものである。 |
| | | | ②大宮聖苑進入退出路南ルートの整備 | ②未着手 | ②60m整備（平成23年度末） | ②権利者との交渉 | ②権利者との交渉 | ②-<br>(-) | |
| 71 | 7103 | 国際化推進事業 | ①国際会議延べ開催数 | ①5回（平成18～20年度累計） | ①10回（平成21～25年度累計） | ①0回 | ①3回 | ①50.0%<br>(30.0%) | 目標指標②は、平成23年度までの計画（累計6人）に対し、83.3%達成できたが、①は平成23年度までの計画（累計6回）に対し、実績が累計3回と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、本市での開催に相応しい（会議内容、規模）国際会議の開催が無かったためである。 |
| | | | ②自治体職員協力交流事業延べ参加者数 | ②3人（平成18～20年度累計） | ②8人（平成21～25年度累計） | ②0人 | ②5人 | ②83.3%<br>(62.5%) | |
| 72 | 7202 | 男女共同参画基盤充実事業 | ①講座開催回数 | ①35回/年 | ①56回/年 | ①50回/年 | ①- | ①88.2%<br>(71.4%) | 計画目標①は平成23年度までの計画（17回増/年）に対し、88.2%達成できたが、②は平成23年度までの計画（2,555人増/年）に対し、実績が295人減と7割未満の達成率であったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、②の遅れは、東日本大震災の影響による施設利用者の減少と、予定していた講座が実施できなかったことによるものである。 |
| | | | ②男女共同参画推進センター等利用者数 | ②16,445人/年 | ②20,000人/年 | ②16,150人/年 | ②- | ②0%<br>(0%) | |

| | コード | 事業名 | 計画目標 | | | 平成23年度実績 | | | 「遅れ」の理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目標指標 | 平成20年度末 | 平成25年度末 | 事業量（単年） | 事業量（累計） | 計画目標進捗率 | |
| 73 | 7203 | 政策・方針決定の場への男女共同参画の推進 | 審議会等委員への女性登用率 | 36.3% | 40% | 1.9%減 | 36.3% | -<br>(0%) | 平成25年度末までの計画目標を40%としているため、年度毎の目標は設定していないが、平成23年度の実績は36.3%にとどまっていることから、計画目標達成に向け「遅れ」とした。<br>なお、遅れは、法律必置による審議会において、設置根拠である法律等で委員が職務指定されていること、計画目標の対象となる審議会等の数が減少したこと等によるものである。 |
| 74 | 7301 | （仮称）さいたま市自治基本条例制定事業 | 条例 | 未制定 | 制定（平成23年度末） | 検討委員会による検討（27回開催）「最終報告書」を市長に提出 | - | -<br>(-) | 検討委員会の検討が予定より長くなり最終報告書の提出が平成24年2月となったこと、及び平成24年度以降も市民の認知度向上に取り組む必要があることから、当初予定していた平成23年度中の条例議案提出に至らなかったため、計画目標達成に向け「遅れ」とした。 |
| 75 | 7302 | 市民活動等支援事業 | ①市民活動サポートセンターの利用登録団体数 | ①780団体 | ①1,780団体 | ①181団体増 | ①1,417団体 | ①100%<br>(63.7%) | 計画目標①②は計画どおり実施することができたが、③は平成23年度までの計画（累計14件）に対し、実績が累計8件と7割未満の達成率であったため「遅れ」とした。<br>なお、③の遅れは、事業の応募数は8事業であったが、辞退や事業審査の結果によるものである。 |
| | | | ②マッチングファンド制度 | ②未制定 | ②制定（平成22年度） | ②- | ②制定（平成22年度） | ②-<br>(100%) | |
| | | | ③同制度による助成事業 | ③0件 | ③22事業（平成22～24年度累計） | ③4件 | ③8件(累計) | ③57.1%<br>(36.4%) | |